

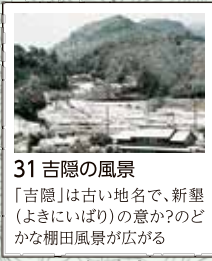
(4) 西峠

(桜井市吉隠～宇陀市榛原萩原)

桜井慈恩寺から宇陀市榛原の萩原まで街道は一本しかなく、かつては伊勢参りや長谷詣の多くの旅人が行き交った。墨坂と呼ばれた峠は宇陀市榛原の西に位置するため、今では西峠と呼ばれている。



34 春日宮天皇妃陵
光仁天皇の母(紀椋姫)の陵。夫の春日宮天皇は志貴皇子



31 吉隠の風景
「吉隠」は古い地名で、新墾(よきにいばり)の意か?のどかな棚田風景が広がる



30 天満神社の太神宮燈籠
吉隠の集落奥の天満神社境内にある文政十三年(1830)銘の太神宮燈籠



28 吉隠の道標
大峯奉納を兼ねた道標。「右いせ」と刻む



29 穂積皇子の万葉歌
元小学校跡に建つ。国道の横断は押しボタン信号から



32 御陵への道標
御陵までは急な坂道が約700m続く



33 供養碑と庚申堂
寛文11年(1671)造立「奉施庚申 角柄村」と刻む庚申堂



35 シュウタレ入口の庚申堂
シュウタレは旧道の呼び名。国道から駐車場に沿って右へ入る



37 墨坂伝承地碑
大和国中へ侵攻する神武天皇に対し磯城の皇師が炭火を焚いて防戦したと伝わる



38 新しい伊勢本街道の道標
平成2年のもので、道標の建つ坂道を下る



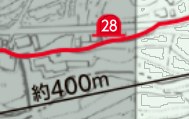
41 あぶらや
明治10年頃まで営業の元旅籠。萩原の賑わいを本居宣長は「菅笠日記」に記す



30 天満神社



30 天満神社の太神宮燈籠



28 吉隠の道標



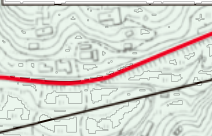
28 吉隠の道標



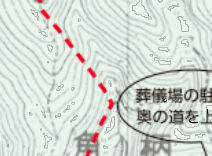
29 穂積皇子の万葉歌



31 吉隠の風景



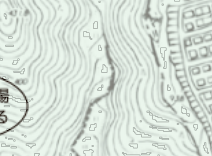
32 御陵への道標



33 供養碑と庚申堂



37 墨坂伝承地碑



38 新しい伊勢本街道の道標



41 あぶらや



万葉歌碑を訪ねて鳥見山へ
「日本書紀」で神武天皇が祭祀を行った山といわれている。山頂近くの公園には春は桜やツツジ、秋には紅葉が楽しめる。展望台からの宇陀、吉野方面の眺めは絶景(鳥見山)



36 ムラサキ地蔵下の道標
西国三十三所供養塔を兼ねる。伊勢街道と戒場薬師を示す



39 前川家
萩原宿の北端にある大和棟の主屋があった屋敷で、門屋前には屋形橋も残る



40 墨坂伝承地碑
上町商店街との合流点の手前右側の民家軒先にある

この部分は次ページもご覧下さい

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- その他文化資産等
- 案内板
- まちがえやすい分かれ道
- トイレ